

大津市立逢坂小学校

令和6年度
エコ・スクール活動報告書

活動テーマ

自ら動き、みんなで協力し、自然豊かな逢坂小学校

実践事例について

1年生は「自然の素晴らしさ」、2年生は「多種多様な生き物の存在」、3年生は「家庭・学校での環境保全活動」、4年生は「地域の環境保全活動」、5年生は「滋賀県の環境問題」、6年生は「地球の環境問題」をテーマに、全学年で系統的に環境学習に取り組んでいる。また、委員会では、紙のリサイクルの推進や節水の呼びかけ、逢坂水族館の管理・運営、栽培活動として逢坂スマイルレインボーロードに取り組んでいる。

学校紹介

本校は、大津駅の南側に位置する全校児童458名、クラス数19の小学校である。1997年にはビオトープ、2008年には新校舎、2012年には新体育館が完成するなど、設備にも恵まれている。また、本校は、平成16年度から継続的にエコ・スクール事業に参加し、認定を受けている。さらに過去には、「しが環境教育リーディング事業」にも参加し、『生涯にわたって環境保全活動に取り組む子どもの育成』を目指して、協同的な学びや、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念を取り入れた研究を、生活科や総合的な学習の時間に進めてきた。さらに近年では、公益財団法人三菱UFJ財団の支援を受けてビオトープの整備にも取り組んだ。



各委員会の取組

◎エコキララ委員会(リサイクル委員会)

今年度も毎月エコ目標を委員会で考え、それを各教室に広めることで、全校挙げてエコ活動に取り組めるよう呼びかけた。また、教室の古紙を集める「リサイクルボックス」を定期的に点検・回収し、気持ちよくリサイクルに取り組める環境づくりに努めた。ペットボトルキャップの回収にも力を入れ、全校に広く呼びかけた。ペットボトルキャップは会社に引き取ってもらい、ワクチンに換えることで社会貢献につなげた。



◎自然キラキラ委員会(飼育委員会)

「逢坂水族館」の管理・運営を行った。毎日、生き物の飼育と並行して、水族館にいる生き物のことを調べて掲示したり、名前を募集したりした。また、生き物や自然環境に関するクイズラリーも企画した。それらの活動を行うことで、全校のみんなが自然の事物に興味・関心を持つことができるとような環境整備に努めた。

◎夢づくり委員会(学校夢づくりプロジェクト担当)

「花を通して、たくさんの人と関わる」をテーマに、夢づくりプロジェクトに取り組んできた。全校が登下校で通る道を「スマイルレインボーロード」と名付け、縦割り活動を通して全校のみんなが寄せ植えをした花でいっぱいにしたり、地域の人に協力してもらってできた駅前の花壇の整備に努めたりした。また、地域行事にも参加した。学校の畑で5月から育てたサツマイモに全校から名前とパッケージのデザインを募集し、「逢坂夢ポテト」と名付け、日頃の感謝の気持ちを込めて、たくさんの人に配ることができた。



キックオフ宣言

今年度も校内のエコ・スクール活動をスタートさせるキックオフ宣言を行った。今年度のテーマは『自ら動き、みんなで協力し、自然豊かな逢坂小学校』とした。話し合いの中で出てきた「学んだことを自分の生活に活かし、みんなの力でおうさかの自然を守っていこう」という気持ちを込めて、活動テーマを決定した。そして、エコキララ委員会、自然キラキラ委員会の各委員長が、エコ・スクール活動を始める決意として全校放送を行い、今年度の活動がスタートした。



逢坂小マスコットキャラクター
モリアオ丸くん

各学年の取り組み

◎1年生

生活科「あきとあそぼう」

どんぐりやまつぼっくり、落ち葉を持ち寄り「あきまつり」を行った。数人ずつのチームに分かれて、どんぐりごま屋さんやアクセサリー屋さん、楽器屋さんなどのお店を開いた。自然の材料をうまくいかせるように、各自が知恵を絞り工夫のある活動ができた。どの児童も意欲的に取り組み、充実した活動ができた。



◎2年生

生活科「いきいき キラキラ 生きている」

育て方を調べ、ビオトープで釣ったザリガニを飼育した。はじめは怖がっていた子供も愛着を感じる事ができた。



1年間を通して、ミニトマトやダイコンなどの野菜を育てた。野菜の育ち方の違いを感じながら、収穫する日を楽しみに育て、自然と触れ合うことの喜びを感じた。

◎3年生

総合的な学習の時間「身の回りのエコを探ろう～私たちはエコ・スクールキッズ～」



学校や家庭にあるエコを見つけ、それが何のためにあるのかを考えることから学習を始めた。ごみ問題の現状を調べたり、古紙回収業者さんを講師に迎え、

実際のごみの量やリサイクルの話の聞いたりすることを通して、逢坂小学校で行っている古紙の回収や着なくなった服を集める活動がエコに繋がることに気づくことができた。マイバックを使ったり、ごみの分別をしたりと自分たちでも簡単にできるエコ活動を知り、環境を大切にしていこうという気持ちが高まった。

◎4年生

総合的な学習の時間「吾妻川の秘密を探ろう～逢坂エコレンジャー～」

1学期には、地域の川である「吾妻川」に出かけ、川の水質や川に生息する水生昆虫などについて調べた。2学期には、森林学習と吾妻川の学習を絡め、川や自然にとっての森林というテーマから森林の水をためる役割や災害を食い止める役割などについて学習した。また、森林と川の結びつきを学んだことで改めて川の大切さについて考え、子どもたち自身で川を大切にしたいという思いを持った。



◎5年生

総合的な学習の時間「びわ湖環境学習」

「琵琶湖の〇〇について」のスピーチやフローティングスクールでの体験活動などを通して、外来種の問題やヨシの減少、琵琶湖の水質など、追求したい課題について調べ、分かったことや考えたことを新聞やタブレットにまとめた。また、この学習を進めていく中で、身近にある琵琶湖の水質を守るヨシについての興味関心を深め、オーパルへの校外学習では、カヌーでヨシ帯の見学を体験できた。次の世代へ受け継いでいくために、自然に生きる植物を大切にしたり、ヨシを使って学期を作って活用したりするなど、自分たち一人一人にできることを考え、自分の生活を見直すことの大切さを学んだ。



◎6年生

総合的な学習の時間「未来のためにわたしたちができること」

SDGsについて学び、環境問題の課題を見つけ、何ができるかを考え、環境保護に関する活動を行った。その後、衣服メーカーの協力を得て、着なくなった服を集めて難民キャンプに送る「服のチカラプロジェクト」に取り組んだ。このプロジェクトを通して、難民を救う取組について興味を持ち、みんなで力を合わせることで社会に大きく貢献できるという実感と遠く離れた人が笑顔になってほしいという思いをもつことができた。



◎わかば学級

自立活動・生活単元学習「大きく育てね」

昨年度から引き続き、季節の野菜の栽培活動を行った。キュウリ、ナス、ピーマン、サツマイモ、ダイコン等、たくさん収穫し、喜ぶ姿が見られた。みんなで野菜の種をまいたり、苗を植えたり、世話をしたりすることで、命を育て、大切に育てる経験ができた。また、栽培や収穫を通して、自然環境への関心を高めることができた。



学校名	大津市立逢坂小学校
住所	大津市音羽台6番1号
電話番号	077-511-9495
E-mail	osaka@otsu.ed.jp
URL	http://www.otsu.ed.jp/osaka